

第1期

Special Section: Hakone / Yokosuka collaboration project 1st Hakone Laliq Museum collection "Prayer for Tomorrow"

特集：箱根・横須賀連携企画第1弾 箱根ラリック美術館所蔵「明日への祈り展 ラリックと戦禍の時代」

特集：新収蔵品展

2023年4月8日(土)ー7月2日(日)

休館日：5月8日(月)、6月5日(月)

近代ガラス工芸の第一人者ルネ・ラリックが、苦難の日々を生きた人々のため、チャリティーの目的で制作したメダルなど約70点をご紹介します。



ルネ・ラリック
《ブローチ「全国結核患者の日」》
1917年頃、箱根ラリック美術館蔵

第2期

Special Section: WAKABAYASHI Isamu, 20 Years after his death

特集：没後20年 若林奮

2023年7月8日(土)ー10月1日(日)

休館日：8月7日(月)、9月4日(月)

2023年は美術館前庭の屋外彫刻《Valleys》の作者、若林奮の没後20年にあたります。当館所蔵の《Valleys》関連ドローイングと2003年に制作されたドローイング、小彫刻を展示します。



若林奮《飛葉と振動II》2003年、当館蔵

第3期

Special Section: KATSUMATA Toyoko

特集：勝又豊子 不在の向こうー白い余白

2023年10月7日(土)ー12月24日(日)

休館日：11月6日(月)、12月4日(月)

勝又豊子は、身体をテーマとして、キャリアの初期から用いている鉄や写真、映像を組み合わせたインスタレーションを発表します。



勝又豊子《不在の向こう》
2021年、アズマタイププロジェクト展示風景

第4期

Special Section: Yokosuka Art Valley HIRAKU

特集：YOKOSUKA ART VALLEY HIRAKU

2024年1月6日(土)ー3月31日(日)

休館日：1月9日(火)、2月5日(月)、3月4日(月)

谷戸コミュニティの新しい形づくりのため、田浦のアーティスト村「HIRAKU」に誘致されたアーティストたちの作品を展示するとともに、横須賀市の芸術を通じた地域の活性化活動をご紹介します。



HIRAKUロゴマーク

谷内六郎館 / 別館 TANIUCHI Rokuro Pavilion
〈週刊新潮 表紙絵〉展

影のイマジネーション Imagination of Shadows

2023年4月8日(土)ー7月2日(日)

休館日：5月8日(月)、6月5日(月)

荒井良二が選ぶ 毎週ぼくは谷内六郎に会っていた
Arai Ryoji's Selection Every week I used to see Taniuchi Rokuro

2023年7月8日(土)ー10月1日(日)

休館日：8月7日(月)、9月4日(月)

建物いろいろ Various buildings

2023年10月7日(土)ー12月24日(日)

休館日：11月6日(月)、12月4日(月)

ずっとともだち Stay good friends

2024年1月6日(土)ー3月31日(日)

休館日：1月9日(火)、2月5日(月)、3月4日(月)



《ビー玉の影は昔のあそび》
1977年、当館蔵

開館時間
10:00-18:00

休館日

*毎月1日曜日(祝日の場合は開館)
※5月1日(月)を除く
*年末年始 12月29日(金)-1月3日(水)
*臨時休館日 12月25日(月)-28日(木)、
1月4日(木)-5日(金)、1月9日(火)

観覧料

〔所蔵品展 谷内六郎館〕一般 380(300)円
高校生・大学生・65歳以上の方 280(220)円
〔企画展〕各展覧会によって異なります。中面の各展覧会欄をご覧ください。
(企画展のチケットで、所蔵品展・谷内六郎館は無料でご覧いただけます。)
*()内は20名以上の団体料金、または前売券料金
*次の方は所蔵品展、谷内六郎館および企画展がすべて無料です
・15歳以下(高校生は除く)
・身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と介助の方1名
・高校生(市内在住または在学に限る)
・教育活動で小・中学校など団体を引率される方

無料観覧日

11月3日(金・文化の日)、
2024年2月18日(市制記念日〔2月15日〕に直近の日曜日)

交通のご案内

■電車をご利用の場合
*京急線「馬堀海岸」駅もしくはJR「横須賀」駅から観音崎行きバスで「観音崎 京急ホテル・横須賀美術館前」下車徒歩2分
*京急線「浦賀」駅から観音崎行きバスで終点「観音崎」下車徒歩5分
■車をご利用の場合
*横浜横須賀道路馬堀海岸I.C.から約3km(約5分)



■駐車場 8:00-22:00 無休

普通自動車 (120台)	最初の1時間320円 以降160円/30分 上限1,600円/日 (展覧会ご観覧の方は最初の1時間無料)
自動二輪車・原動機付自転車	1回210円(展覧会ご観覧の方は無料。自転車は無料。)
大型バス	1回1,570円(事前の予約が必要です。詳しくはお問い合わせください。)

*身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は無料。(精算時にご提示ください。)
〔価格はすべて税込〕

「横須賀応援ふるさと納税」で横須賀美術館をご支援ください。
詳しくは→<https://www.yokosuka-moa.jp/oshirase/furusato.html>



横須賀美術館
YOKOSUKA MUSEUM OF ART
〒239-0813 横須賀市鶴居4-1 TEL.046-845-1211
ホームページ <https://www.yokosuka-moa.jp/>



荒井良二《流れ星スパーク奏でよギター》2022年、個人蔵

Exhibition Schedule 2023 April -2024 March

展覧会スケジュール

2023年4月-2024年3月

横須賀美術館
YOKOSUKA MUSEUM OF ART

2023.4 → 2024.4	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4		
休館日	3(月)	8(月)	5(月)	3(月)	7(月)	4(月)	2(月)	6(月)	4(月)、25-31	1-5、9(火)	5(月)	4(月)	1(月)		
企画展	没後40年 朝井閑右衛門展 4月22日(土) ▶ 6月18日(日)			new born 荒井良二 いつもしらないところへ たびするきぶんだった 7月1日(土) ▶ 9月3日(日)			ロイヤル・コペンハーゲンと 北欧デザインの煌めき 9月16日(土) ▶ 11月5日(日)			となりの国の絵本 躍動する韓国 イラストレーションの世界 11月18日(土) ▶ 12月24日(日)		児童生徒 造形作品展 1月11日(木) ▶ 29日(月)		日本の巨大ロボット群像 —巨大ロボットアニメ、そのデザインと映像表現— 2月10日(土) ▶ 4月7日(日)	
所蔵品展	第1期 特集：箱根・横須賀連携企画第1弾 箱根ラリック美術館所蔵 「明日への折り展 ラリックと戦禍の時代」 4月8日(土) ▶ 7月2日(日)			第2期 特集：没後20年 若林奮 7月8日(土) ▶ 10月1日(日)			第3期 特集：勝又豊子 10月7日(土) ▶ 12月24日(日)			第4期 特集：YOKOSUKA ART VALLEY HIRAKU 1月6日(土) ▶ 3月31日(日)					
谷内六郎館(週刊新潮 表紙絵)展	影のイマジネーション 4月8日(土) ▶ 7月2日(日)			荒井良二が遊ぶ 毎週はくは谷内六郎に会っていた 7月8日(土) ▶ 10月1日(日)			建物いろいろ 10月7日(土) ▶ 12月24日(日)			ずっとともだち 1月6日(土) ▶ 3月31日(日)					

* 展覧会タイトル、会期、内容等は変更になることがあります。
* 観覧料：() は20名以上の団体料金または前売券料金。(価格はすべて税込)

ASAI Kan'emon: A Retrospective

没後40年 朝井閑右衛門展

2023年4月22日(土) - 6月18日(日) 休館日：5月8日(月)、6月5日(月)

本展は油彩、水墨画や素描の代表作に加え、朝井の知られざる収集品かつ作品世界をかたちづくる骨董・人形や、自筆の手帳、制作のための写真など約200点を紹介し、新たな魅力を検証します。

観覧料 一般：1,300(1,040)円
高大生、65歳以上：1,100(880)円



朝井閑右衛門《薔薇(法華壺)》1981年
神奈川県立近代美術館蔵

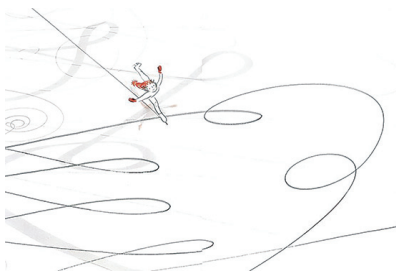
Dynamism of Korean Illustrations: Picture Books of The Neighboring Country

となりの国の絵本 躍動する韓国イラストレーションの世界

2023年11月18日(土) - 12月24日(日) 休館日：12月4日(月)

国際的な絵本コンペの場で、近年めざましい存在感を示す韓国発の絵本の世界。本展では、その躍進を支える注目作家9人に焦点をあて、1990年代後半から2000年代以降の作品を中心に、約200点の絵本原画や制作過程のスケッチなどを紹介します。

観覧料 一般：1,300(1,040)円
高大生、65歳以上：1,100(880)円



スージー・リー
『せん』(オリジナル版2017年発行)
原画、作家蔵

ARAI Ryoji: New Born - It always felt like traveling to unknown places.

new born 荒井良二 いつもしらないところへ たびするきぶんだった

2023年7月1日(土) - 9月3日(日) 休館日：7月3日(月)、8月7日(月)

あたたかく鮮やかな色彩とタッチで日常の喜びや未来への希望を描く絵本作家・荒井良二の絵本原画やイラストレーション、新作絵画など約300点を通して、荒井の今を紹介します。

観覧料 一般：1,300(1,040)円
高大生、65歳以上：1,100(880)円



荒井良二
『あさになったのでまどをあけますよ』
原画、個人蔵

Student's Art & Model Exhibition

第76回 児童生徒造形作品展

2024年1月11日(木) - 1月29日(月)

横須賀市立の幼・小・中・高・ろう・養護、すべての学校園の子どもたちによる作品展。日頃の授業でつくり上げた平面作品や立体作品など約3,000点の展示を通して、子どもたちの制作意欲や作品への思いをお楽しみください。

観覧料
無料



第75回展示風景

North European tableware design from 19th century to mid 20th century

ロイヤル・コペンハーゲンと 北欧デザインの煌めき

2023年9月16日(土) - 11月5日(日) 休館日：10月2日(月)

デンマークを代表する陶器メーカーであるロイヤル・コペンハーゲンから生み出された作品を中心に、北欧の暮らしを豊かに彩ってきたさまざまな陶磁器、銀器、ガラス器など、欧州・日本のコレクターが所蔵する幅広い作品100点あまりを公開します。

観覧料 一般：1,300(1,040)円
高大生、65歳以上：1,100(880)円



《マーガレット・サービス》1904-22年
ロイヤル・コペンハーゲン/
デザイン：アーノルド・クロー
堀川コレクション

Giant Robots: The Core of Japanese Mecha Anime

日本の巨大ロボット群像 —巨大ロボットアニメ、そのデザインと映像表現—

2024年2月10日(土) - 4月7日(日) 休館日：3月4日(月)、4月1日(月)

1963年のテレビアニメ『鉄人28号』放映から60年。日本では脈々と「巨大ロボット」が登場するアニメーションが制作されてきました。その魅力とは何なのか？ 歴代巨大ロボットのデザインと映像表現の特質に迫ります。

観覧料 一般：1,300(1,040)円
高大生、65歳以上：1,100(880)円



加藤直之・宮武一貴《宇宙の戦士》1977年
©スタジオぬえ